

松屋町駅(地下鉄長堀鶴見緑地線)

オランダ人も訪れた住友銅吹所跡



「大阪あそび歩マップ集」
その3 No.122

地下鉄松屋町駅

①大利鼎吉遭難の地

慶応元年(1865)、土佐藩を脱藩した浪士たち(大利鼎吉、田中光頭、大橋慎三、池田応輔)が、当地のぜんざい屋・石蔵屋政右衛門に匿われていました。彼らは大坂市街に火を放ち、騒動を起こす計画を立てていましたが、それを新選組大坂屯所隊長の谷万太郎が察知して、谷三十郎、正木直太郎、阿部十郎らと一緒に石蔵屋を襲撃。しかし、ほとんどの浪士たちは外出中で、2階にいた大利鼎吉だけが討ち取られました。

②BI-CI-CLASSICA

(ヴァンテージ・バイク・ギャラリー)

80年以上前に建てられた古民家をリノベーションして、ヴァンテージものの自転車展览展示する日本で唯一のギャラリーです。展示されている自転車はイタリア製のロードバイクで、美しいデザインは見ものです。

③九之助橋

架橋時期は不詳ですが、慶安～万治年間(1648～61)の絵図にはすでに描かれています。このあたりは住友銅吹所をはじめ、鋳物屋、鍛冶屋などが数多くあり、橋名の「九之助」も、もしかしたら金属関係者かもしれませんが、詳細は不明です。

④住友銅吹所跡

江戸時代の大坂には数多くの銅関連業者が集中していました。日本の生産量の約1/3を生産して、純度99%まで精錬可能という高い技術力を有していました。

大坂屋や平野屋など有力な業者がいましたが、中でも最大規模を誇ったのが泉屋(住友家)で、当地には住友家の店舗や住宅が隣接していました。泉屋は元和9年(1623)に大坂・内淡路町に銅吹所を開設。元禄3年(1690)に本店・居宅を同地に移転し、明治まで続きました。当時の幕府高官やオランダ人もよく視察に訪れたといいます。



⑤元住友家本邸内ビリヤード場(玉突場)

明治9年(1876)に銅吹所廃止後に敷地は住友家の邸宅となりました。明治12年(1879)には洋館や庭園がつくられ、ビリヤード

場はその東側に建てられました。文明開化期に多くみられる「擬洋風様式」で、ビリヤード場玄関のアーチや円柱飾りは洋風ですが、壁は土蔵造り、屋根は瓦葺きで、洋風と和風とが混在しています。明治25年(1892)以前の建築と考えられており、独立建物のビリヤード場としては、わが国最古のものです。



⑥松屋町商店街

有名なひな人形店をはじめ、おもちや、駄菓子、花火、和紙などさまざまな種類の間屋や専門店が100軒以上並んでおり、中には創業100年を超える老舗もあります。

地下鉄松屋町駅

